

STOP!

「海外で戦争する国」

安保法制＝戦争法はただちに廃止!

「9条まもれ!」「平和を壊すな!」

全国に広がった国民の声と運動を無視して、9月19日未明、安倍自公政権は、安保法制＝戦争法を「数の横暴」で成立させました。

憲法9条を踏みにじる違憲立法を許すことはできません。日本の平和と国民の命を危険にさらす法律は、1日も早く廃止させなければなりません。

国民の怒りはおさまりません。戦争法廃止に向けて、新たな運動が始まっています。たたかいはこれからです。

私たちは 廃止まであきらめない!

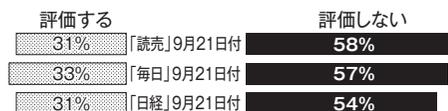
「私たちはあきらめません。さよなら安倍政権、さよなら戦争法。みなさん一緒に声を上げましょう。」と、強行採決後も各地で、集会やパレードがとりくまれています。一人ひとりが主権者として声をあげ行動する、民主主義を取り戻すたたかいは、強行採決後も止まりません。

「野党がんばれ」 「選挙に行こう」コール響く

「列島騒然」の状況をうみだした国民の運動は、野党の結束を貫かせる力となりました。野党5党は、最後まで「強引な採決阻止」で一致して行動しました。安全法制＝戦争法の成立が強行された今、「戦争法廃止」の一点での野党の共同を求める声広がっています。

戦争法成立に世論はNO!

安保関連法の成立を…



政府・与党の対応は…



強行採決後の世論調査では、国会審議のやり方についても、法の内容についても反対が圧倒的多数です。



憲法違反の戦争法は 廃止しかない

安保法制＝戦争法は、明らかな違憲立法であり、無効です。「戦闘地域」での兵たん、武器使用の大幅拡大、戦闘継続地域での治安維持活動、集団的自衛権の行使など、憲法9条が禁ずる「武力の行使」そのものです。「戦争しない」と決めた憲法9条をかなぐり捨てる、憲法違反の安保法制＝戦争法は、1日も早く廃止させなければなりません。

「戦争法廃止」の新しい政府を

安倍政権は、さっそく安保法制＝戦争法を根拠に、南スーダンでの「駆けつけ警護」の任務を自衛隊に与えようとしています。海外で人を殺し殺されるリスクの高い任務を発動させてはなりません。日本国民を守るためではなく、自衛隊員や日本の若者の命を危険にさらす安保法制＝戦争法は、1日も早く廃止を。「戦争法廃止の政府」が求められます。

憲法共同センター (戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
<http://www.kyodo-center.jp/>